

## 平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	震災復興コミュニティファンドによる地域経済の再生とまちづくり推進事業
対象地域	石川県輪島市鳳至町・河井町地区
対象地域の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">【位置図】                      【損壊しこれから修復される土蔵（上）／左官技術研修プログラム（下）】</p>
提案内容の概要	<p>被災地における公的な復興支援（の限界）を補完するために、市民活動としてNPO法人が組織され、土蔵の修復を支援している。その活動の財政的な基盤の脆弱性を改善しつつ、地域経済の再生とまちづくりを持続可能なものとするために、昨年度の成果を踏まえつつ、コミュニティファンドという仕組みを新たな側面から試みる。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>国や自治体からの震災復興策は、被災した住宅を対象としており、輪島塗や日本酒の産業基盤装置としての土蔵は対象外であるため、土蔵約600棟が解体されただけでなく、地場産業自体の存続が危ぶまれる状況となった。そのため、NPO法人輪島土蔵文化研究会が土蔵の修復支援による産業振興とまちづくりを開始し、その活動の持続可能性を高めるために昨年度「土蔵へどうぞ」というコミュニティファンド創設を試みた。昨年度末までに、約170名の協力者が現れ約600万円のファンドを構築することができた。その協力者は今回の「新しい支援の形」をかなり評価している。（同じようなシステムでの他の被災地への協力意向に関しては、是非とも支援したい（21%）、支援する産業や活動次第（67%）、被災地の場所次第（21%）ということであり、本事業の汎用性が証明されているものと考えられる）</p> <p>その一方で、以下のように本システムを改良した形で、社会実験を継続することが課題として挙げられた。①システムや方法の改善：小口（5千円から1万円）の寄付コースを設定したり、ウェブ決済を導入したりして、被災した土蔵から救出した戦前の器（不良在庫の輪島塗）を記念品として贈呈することを試みる必要がある。②ファンドの使用目的の変更：コミュニティレストランや左官技術研修場というまちづくり活動に絞り込んだ支援金を募り、協力者とNPO法人とのキャッチボールの方法を模索し実証することなどが次年度に引き継ぐ喫緊の課題である。</p>
(2) 活動内容の案	<p><b>活動①</b>： web 媒体を活用した告知と寄付システムの構築</p> <p><b>内容</b>：</p> <p>昨年度は、パンフレットを印刷配布すると同時に、新聞や専門誌などの媒体による告知を試みた。</p>

今年度は、webによって寄付できるシステム【Pay Pal】低手数料で安全かつ迅速に寄付を募ることができるオンライン決済ツール、【イーココロ】ショッピング募金、アクション募金、クレジットカード募金など多様なツールを持ち合わせているなどを活用することを検討し、併せてそれを告知する方法について検討を深め、ホームページを拡充する。

**活動②**： サンキューギフト「土蔵からのプレゼント」のデザイン検討

**内容**：

昨年度は、漆器店と醸造店を支援するために、「土蔵ブランド新商品」をデザインし、協力者にプレゼント贈呈が始まっている。

今年度は、土蔵から救出した輪島塗の在庫（約 1000 ピース）を修復したりデザインしたりすることにより、サンキューギフトを造り上げる。

**活動③**： 震災復興コミュニティファンドの汎用性の検証

**内容**：

昨年度同様に、協力者へのアンケート調査を実施するとともに、上越地域や岩手地域など震災に見舞われた地域でのまちづくり活動と寄付金や義捐金の活用実態をヒアリング調査することにより、今回のシステムの汎用性を実証的に確認する。

応募団体名	特定非営利活動法人 輪島土蔵文化研究会
リンク	<a href="http://wajimareno.exblog.jp/">http://wajimareno.exblog.jp/</a>
部局／担当者名	副理事長 水野雅男
連絡先	mmasao@mb.infoweb.ne.jp
推薦市町村名	石川県輪島市